

1. 学校名 飯田市立遠山中学校 対象 (全校、27名)

2. 探求課題・活動実践の概要、ねらい、目標等

(1)活動名 遠山郷を守ろうプロジェクト

【関連活動】遠山三校絆プロジェクト、郷土の舞、花を贈る活動など

(2)目 標 ・郷土「遠山郷」の特徴やその良さや課題を知る。
・地域の人と交流することを通して郷土愛を深めるとともに、地域貢献のためにできることは何かを考える、実行していく生徒の育成。

(3)ESD の視点、育成する資質・能力

①構成概念

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 多様性 (多種多様な現象が起きていること) | <input type="checkbox"/> 公平性 (一人ひとりを大切に) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 相互性 (関わりあっている) | <input checked="" type="checkbox"/> 連携性 (互いに連携・協力すること) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 有限性 (限りがある) | <input type="checkbox"/> 責任制 (責任を持って) |
| <input type="checkbox"/> その他 () | |

②育成する資質・能力

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 批判的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 他者と協力する力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 未来像を予測して計画を立てる力 | <input checked="" type="checkbox"/> つながりを尊重する態度 |
| <input type="checkbox"/> 多面的・総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 進んで参加する態度 |
| <input type="checkbox"/> コミュニケーションを行う力 | |

(4)関連する SDG s

11 住み続けられるまちづくりを

15 陸の豊かさを守ろう

17 パートナリーシップで目標を達成しよう



(5)探求課題・活動実践の概要

① 遠山郷を守ろうプロジェクト

・学校周辺や公共施設の清掃活動

② 地域フォーラム

・地域の方と一緒に、遠山郷の課題を考え、未来を思い描く。

③ 郷土の舞

・重要無形民俗文化財「遠山の霜月祭」の舞について学習し、地域に向けて発表する。また、実際に霜月祭に参加する。

④ 遠山三校交流会「遠山三校絆プロジェクト」

・過疎化が進む遠山郷に暮らす小中学生が集い、SDGs に関わる学習を通して、未来の郷土のあり方について考える。

⑤ 学有林学習

・学校林を活用し、植林などの作業をしながら林業や森林保全について学ぶ。

⑥ 花を贈る活動

・生徒会活動で育てた花の寄せ植えを公共施設などに贈る。

3. 流れ（指導計画の概略）

① 遠山郷を守ろうプロジェクト

- ・生徒会が主体となって企画運営をし年度当初、年間活動計画に実施時期を決める。地域に貢献する活動を企画するが、内容については全校生徒や地域の方々に相談する。

② 地域フォーラム

- ・文化祭の中に位置づけ、来場された保護者、地域の方と一緒に遠山郷の未来を考えるテーマについてはESDに関連した内容を生徒が考える。

③ 郷土の舞

- ・8月から9月にかけて夕方、各地区の保存会の方を講師として招き各学年ごとに合計5回程度の練習を積む。学年ごと指定した地区の舞を習得し、3年間で遠山郷各地区の舞を学び、12月の祭本番に参加する。

④ 遠山三校交流会「遠山三校絆プロジェクト」

- ・三校で年間の実施時期と学習内容について検討し行う。本年度は3回実施した。5/20に児童生徒が活動したい内容を考え、7/22に3グループに分かれて別々の活動を行った。11/26は三校の取り組みを紹介し合う内容とした。

⑤ 学有林学習

- ・事前学習と体験学習の2回を9月初旬に実施。自然学習では森林組合の方を講師に、森林保全と暮らしのつながり、森林の豊かさと海の豊かさの関係について学習をした。体験学習では、学校林で間伐、伐倒の体験実習を行うと共に、昔ながらの林業の大変さと、近代化された林業の変化について学んだ。

⑥ 花を贈る活動

- ・生徒会活動として秋からプランターにビオラの花を栽培し、入学式が終わったタイミングで、公共施設や福祉施設に寄贈。咲き終わった花については6月下旬に回収し片付けをする。

4. 効果・反応・所感

- ・生徒と保護者に向けた学校評価アンケート「体験学習や遠山の時間を通して、地域や郷土についての学習が深まっている。」や「地域の清掃活動や行事への参加を通して、地域へ貢献できている。」という地域に関わる項目についてはほぼ9割が肯定している。これは今に始まったことではないので、本校の特徴といっても良い。このように地域に対する思いが強いのは、重要無形民俗文化財に指定されている「霜月祭」を継承のする活動や、地元産業の森林について昭和32年から続く「学有林学習」を中心とした親子で共感できる活動などがあるからだと考えられる。

5. 指導方法・体制の工夫（協力者や資源）

【協力者・団体】

P T A、学校運営協議会、長野県林務課、飯田市林務課、飯田市公民館、飯伊森林組合、栄林社霜月祭保存会

【指導方法】

学校側で企画し、支援を依頼する。